

個人投資家様向け

会社説明資料

2026年2月19日

 **旭情報サービス株式会社**

東京証券取引所 | スタンダード市場
証券コード | 9799



Agenda

I

会社概要

II

AISの強み

III

AISの取り組み

IV

株主利益の維持・向上

Agenda

- I** 会社概要
- II AISの強み
- III AISの取り組み
- IV 株主利益の維持・向上



ASAHI INTELLIGENCE SERVICE



ICT社会の発展を価値ある「サービス」と「人」で支える

旭情報サービス株式会社

企業理念

旭情報サービスは
生き生きとした人づくりに基づき
創意工夫とたゆまぬサービス改善により
情報社会の健全な発展に貢献します。

代表取締役社長

濱田 広徳



概要

設立	1962年8月7日
資本金	7億3,336万円
上場市場	東京証券取引所 スタンダード市場 (証券コード:9799)
社員数	1,997名(2025年9月末現在)
本社	東京都千代田区丸の内 1丁目7番12号 サピアタワー11階
オフィス	東京・横浜・名古屋・大阪
事業内容	・ネットワークシステムの構築・運用・管理 ・ソフトウェアの設計・開発業務 ・ホスト系コンピューターシステムの 保守・運用・管理 ・OA事務サポート ・ヘルプデスクなど

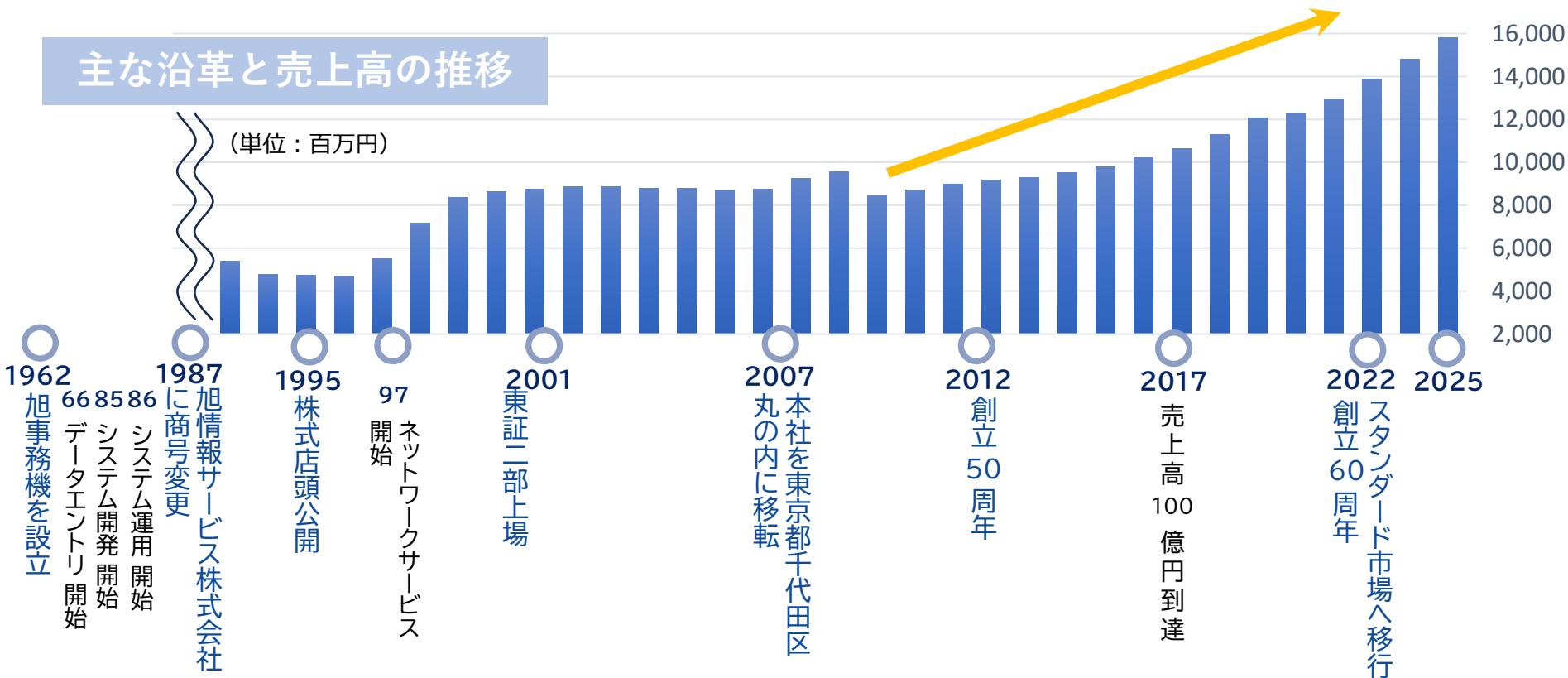


当社のあゆみ

堅実な経営により時代の変化を乗り越えながら事業の継続的な成長を実現

主な沿革と売上高の推移

(単位：百万円)



時代の変化

- バブル崩壊
- ITバブル崩壊
- リーマンショック
- コロナショック
- 分散型システムネットワーク化
- インターネット利用の拡大
- クラウドコンピューティングとIoT、AIの時代到来



旭情報サービスは “ICT社会の発展を価値ある「サービス」と「人」で支える”企業

情報技術の活用で利便性の高まる社会

生活環境

- ・現金
- ・新聞・メディア
- ・ショッピング
- ・自動車

キャッシュレス決済
ニュースサイト・SNS
ネット通販
電気自動車

職場環境

- ・オフィスワーク
- ・会議
- ・紙資料
- ・電話・窓口

リモートワーク
Web会議
電子データ
AI・チャットボット

社会の発展を支える主要な情報技術



AI
RPA



Cloud
Security

企業では競争力強化のため
活発なIT投資が継続

当社は情報技術で支援



顧客の課題解決に貢献し、顧客とともに成長するソリューションパートナー

社会の発展を支えるサービスの事例



DX技術を中心に、様々な分野で当社のサービスが活躍

自動車・自動車 関連	ものづくりを支える	✓ 車両設計におけるCADシステムの包括支援
	IT基盤づくりを支える	✓ ITインフラの安定稼働を支える構築・運用支援
通信	大切な情報資産を守る	<ul style="list-style-type: none"> ✓ サイバー攻撃の被害の最小化と復旧(CSIRT) ✓ サイバー攻撃の脅威分析、早期発見(SOC)
金融・保険	安心を支える	✓ 金融ネットワークの管理・運用

…And more!



Agenda

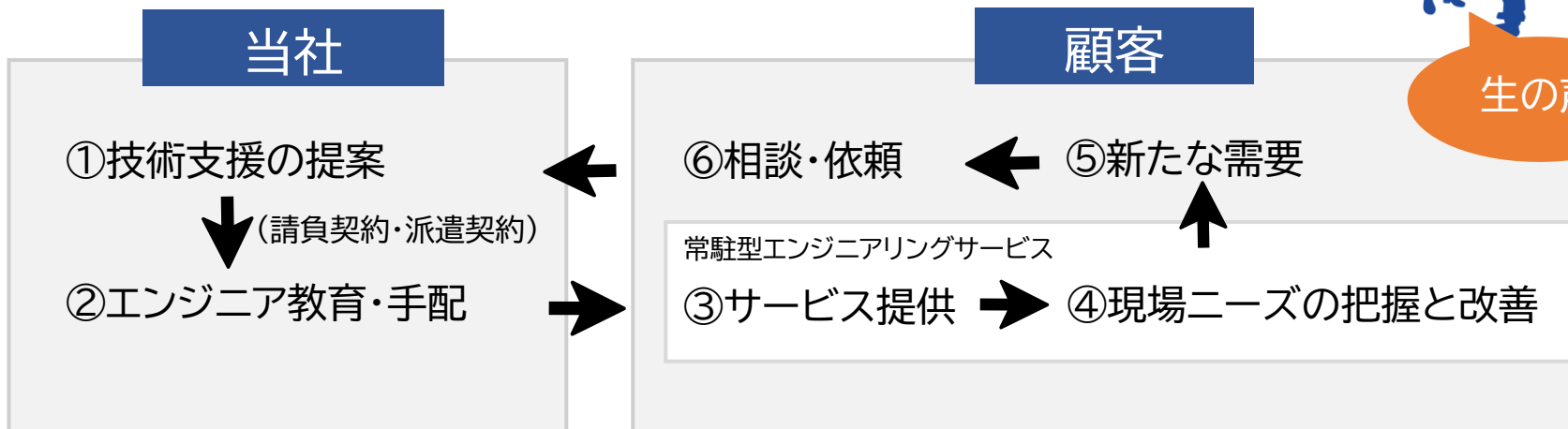
- I 会社概要
- II AISの強み
- III AISの取り組み
- IV 株主利益の維持・向上



常駐型のシステム・エンジニアリングサービス 顧客と共に成長するビジネスモデル



生の声



👉 顧客に寄り添った情報サービスによる信頼関係の構築
が競争力の源泉



顧客の事業継続に欠かせないシステムの安定運用をサポート

ネットワークサービス

84.2%

売上構成比

ITインフラの
構築・運用管理

ハードウェア



ネットワーク



PC



サーバー

ソフトウェア



Web/APサーバー



OS



データベース

システム開発

14.0%

売上構成比

アプリケーションの
設計・開発

業務系



基幹系(ERP)

顧客管理系
(CRM)

Web

医療系受付
システムサプライヤー
向けサイト

制御系



家電系



生産機器系

情報システム導入の流れ

システムの安全・安定サポートに強み
顧客のシステムをしっかり管理するためリピート率が高い

要件定義

設計

開発・構築

運用・管理



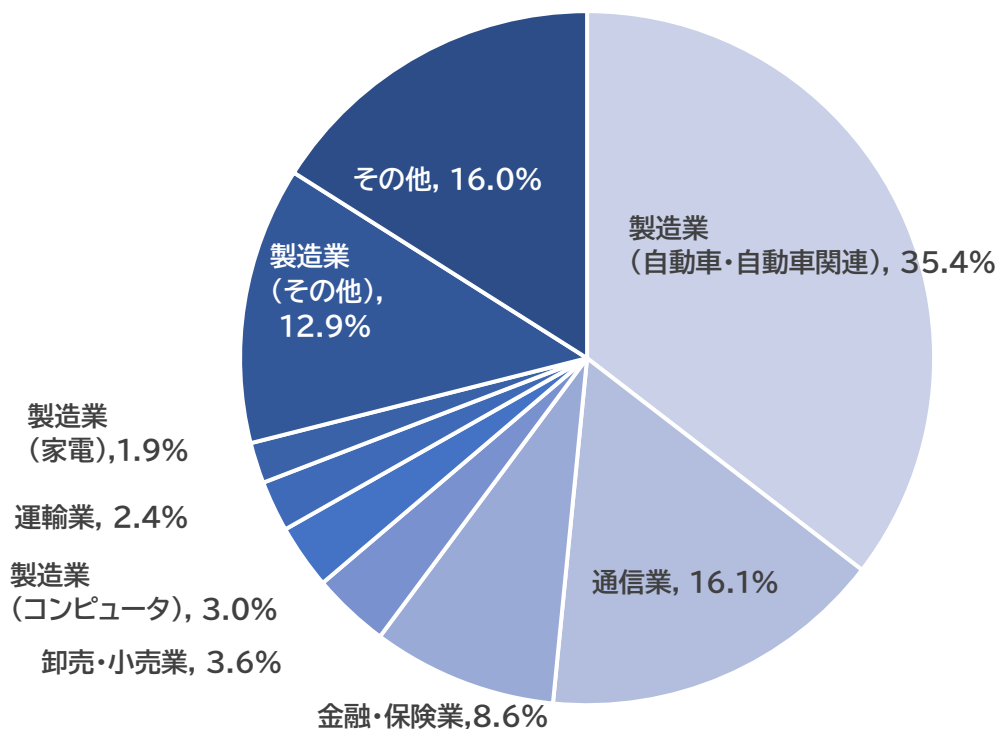
継続性の高い運用管理サービスは安定的な収益の源泉

主力



多様な業種の優良企業で構成する強固な顧客基盤

業種別売上構成比 <エンドユーザ業種>



2025年9月末時点

- ✓ トヨタグループやNTTグループなど、優良企業を中心とした長年の取引
- ✓ 多様な業種との取引があり、特定の業種で景気停滞があっても他の業種でカバーが可能



安定的な受注を実現

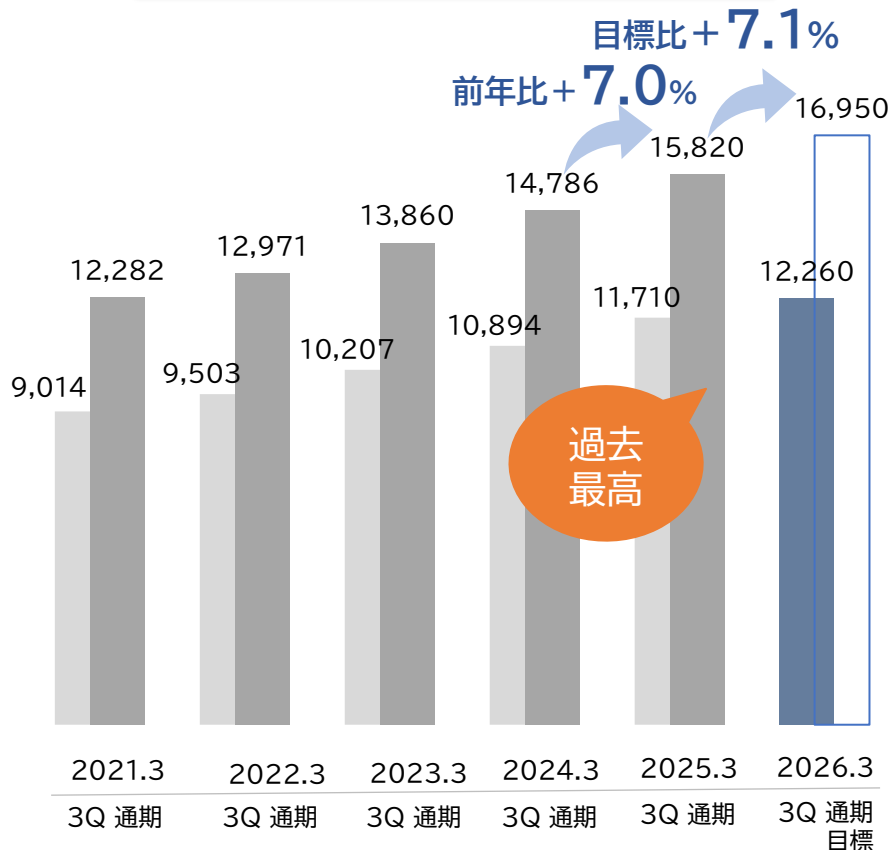
Agenda

- I 会社概要
- II AISの強み
- III AISの取り組み
- IV 株主利益の維持・向上



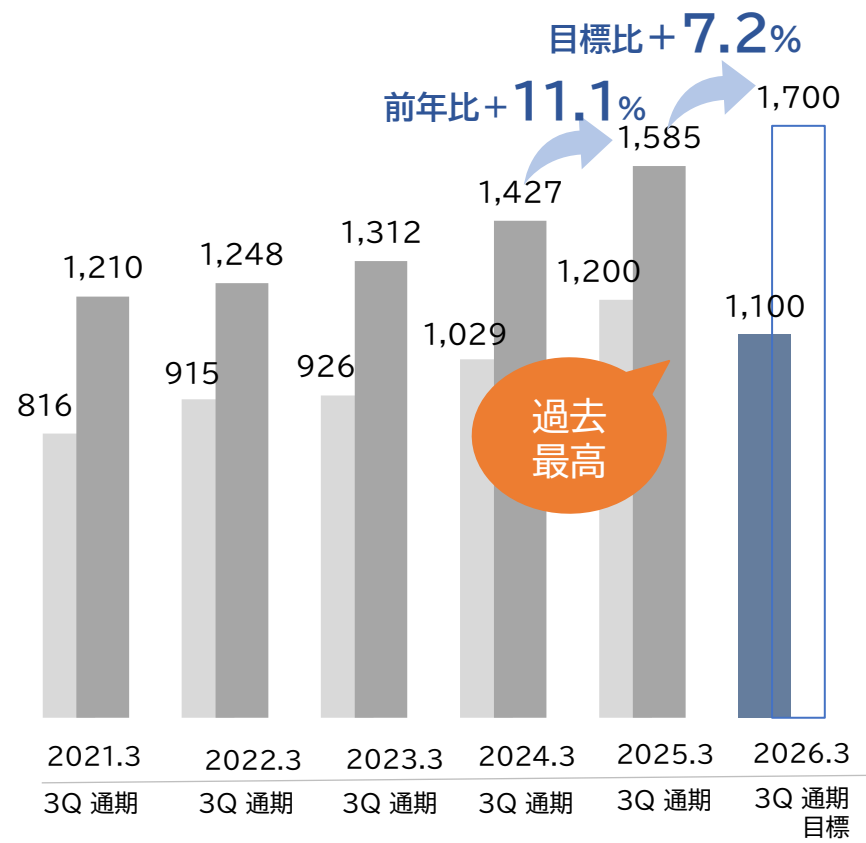
過去最高更新を目指す通期目標の達成に向けて事業を推進

売上高



(単位:百万円)

営業利益



(単位:百万円)



変革と共創で未来を創る



既存事業

事業の構造改革による収益力の強化

成長分野へのシフト

成長のヒント(ニーズ)

- ・手作業・非効率の脱却
- ・ビジネススピードの向上
- ・自前システムの限界

成長分野
・DX分野の拡大



新規事業

新たなビジネス分野の開拓による成長力の強化

市場環境の変化に対応した新たな事業を模索

新たな領域

- ・顧客業務のAI活用支援
- ・幅広い商材 (リセール、代理店販売など)



新たなチャレンジ

- ・AIソリューションを活用したビジネス展開
- ・新規ビジネス創出
- ・自社ソリューション開発

事業リソースの集中と請負化の推進

縮小する案件

- ・単なる労働力の提供

拡大する案件

- ・組織力が発揮できる
- ・収益性・成長性が高い
- ・従業員の成長が見込める

組織力を高め営業力を強化

強化の目的

- ・顧客への課題解決貢献

強化する内容

- ・エンジニアと営業のタッグによる提案活動の強化
- ・顧客とのリレーションシップの強化



事業戦略全般を支える基盤



採用・育成

企業基盤を支えるために

- ・成長領域の強化
- ・事業競争力強化
- ・生産性向上



DX人材の獲得

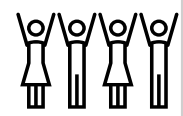
- ・高度人材採用
- ・リスクリテラシー
- ・スキルアップ



従業員エンゲージメントの向上

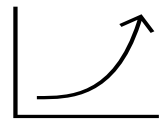
制度改革と環境整備 多様な働き方を促進

- ・リモートワーク制度
- ・スライドワーク制度
- ・ドレスコードフリー



処遇改善 昇給と資産形成

- ・ベースアップ
- ・従業員向け株式交付信託の導入



大阪オフィスの移転 快適に働けるオフィス空間を整備





持続可能な社会の実現

次世代へ
つなぐ環境資本



多様な
価値観の尊重



信頼性と
透明性の向上


長期的な価値向上

環境
Environment

水田オーナーズクラブに参画
水田保全活動と収穫米の寄付



環境省「つなげよう、支えよう森里川海」プロジェクトに賛同



社会
Social

えるぼし(3段階目)の取得



健康経営優良法人2025
(大規模法人部門)に認定



企業統治
Governance

中期経営計画の開示



機関投資家様向け決算説明会
主催: 日本証券アナリスト協会



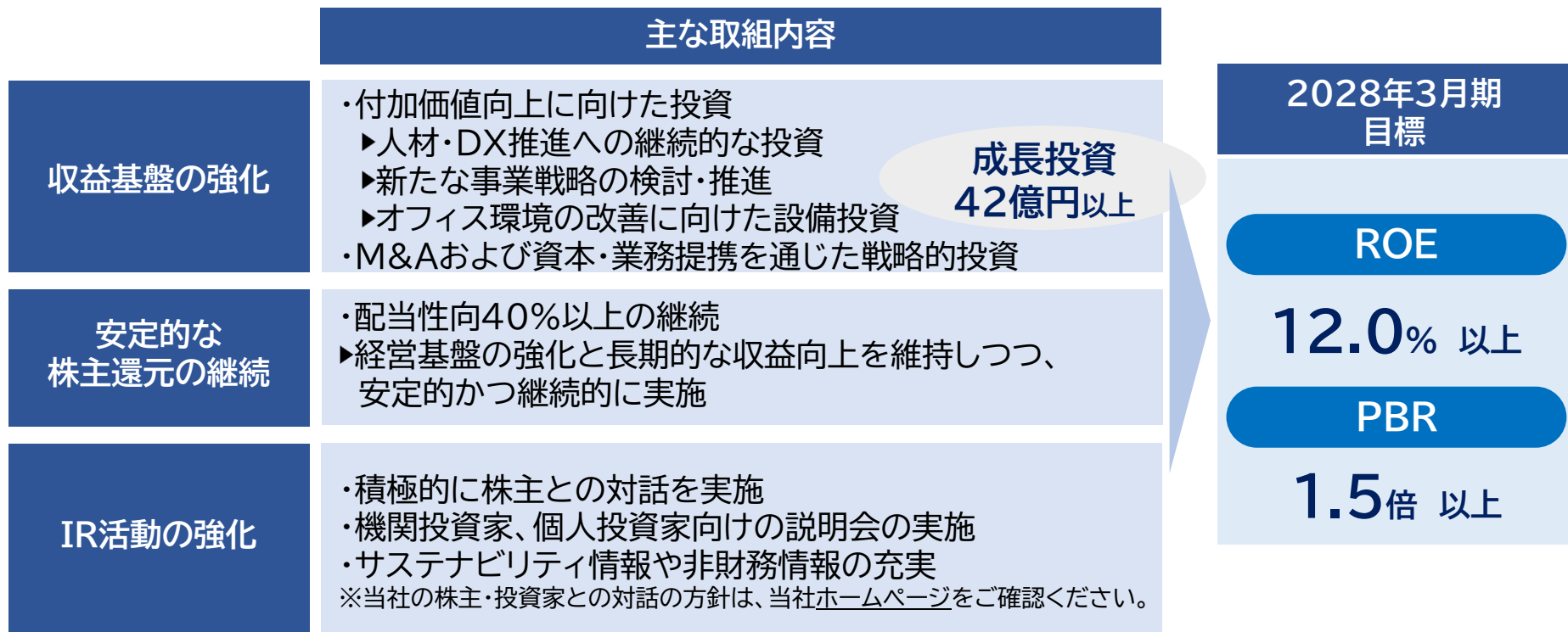
Agenda

- I** 会社概要
- II** AISの強み
- III** AISの取り組み
- IV** 株主利益の維持・向上

資本コストと株価を意識した経営



資本効率の改善ならびに持続的な利益成長を通じて
市場からの評価を一層高め企業価値の向上を目指す



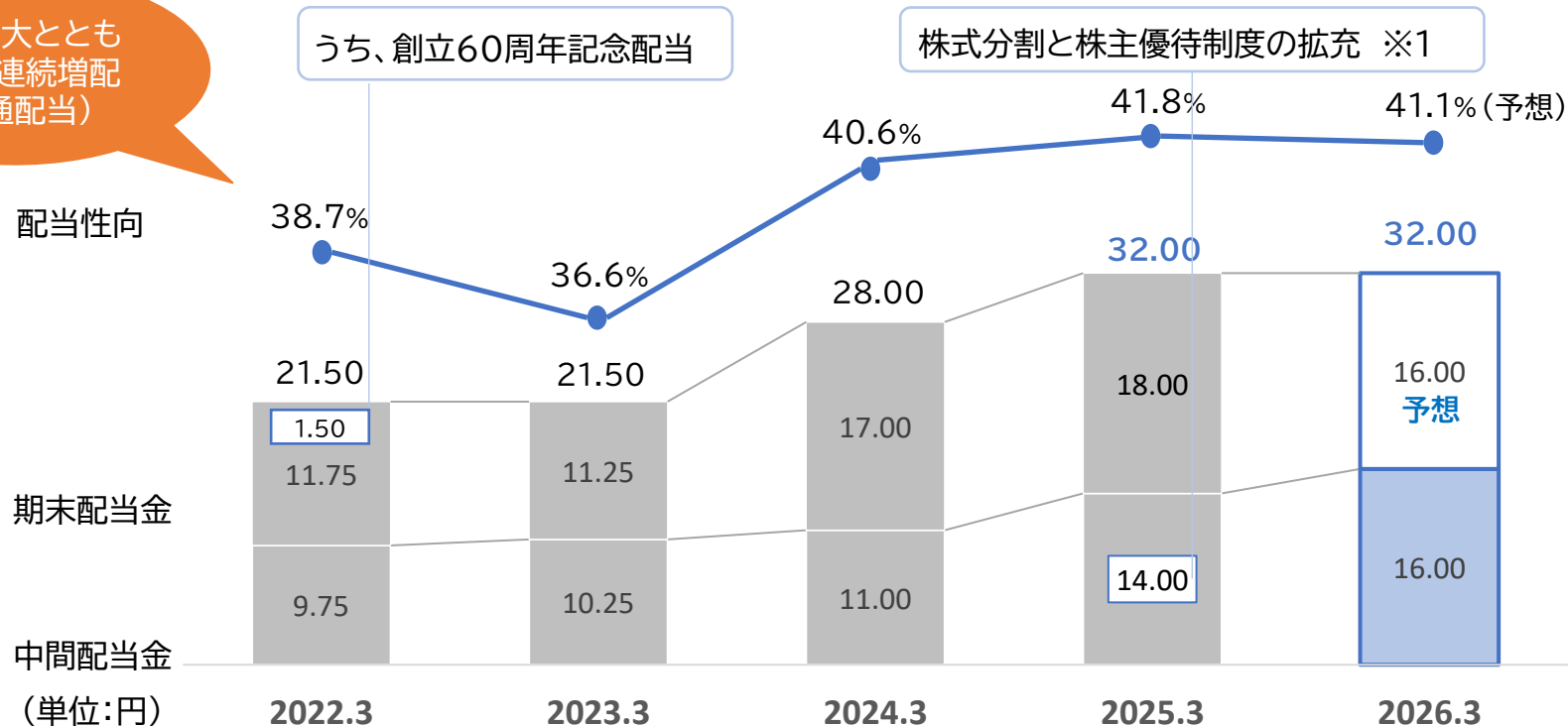
将来のキャッシュ・フロー成長を支える無形資産(人材・DX推進)への資源配分を継続的に実施



基本方針

- ・配当性向40%以上を継続し株主還元の充実を目指す
- ・業容・業績の拡大とともに安定的かつ継続的に行う

業績拡大とともに
9期連続増配
(普通配当)



自己株式取得

- ・株式の種類：当社普通株式
- ・株式の総数：350,000株(上限) ※2
- ・株式取得価額の総額：500百万円(上限)
- ・期間：2025年11月6日～2026年6月23日

取得
全株式数自己株式
の消却

- ・消却方法 資本剰余金からの減額
- ・消却予定日 2026年6月30日

※1 上記のグラフは、2022年3月期の期首に株式分割が行われたと仮定して、1株当たりの配当金を記載

※2 発行済株式総数(自己株式を除く)に対する割合 2.25%

ご参考

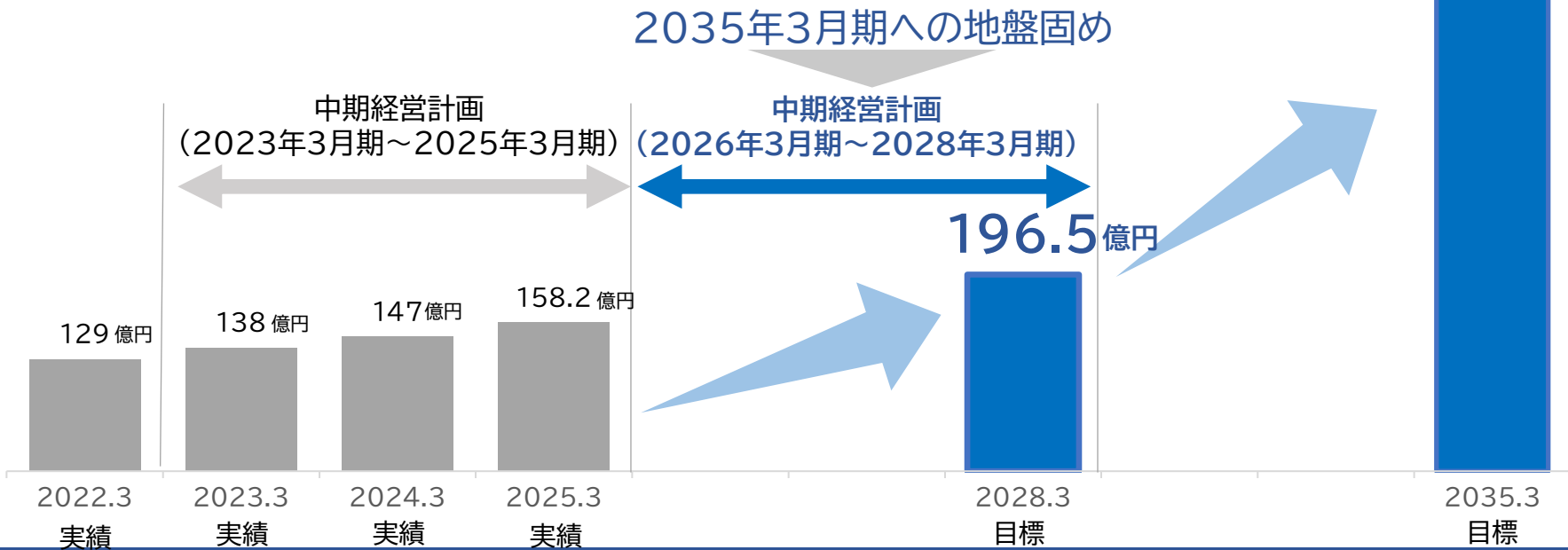


2035年3月期 売上高500億円を目指す

長期目標を見据えて中期的な課題解決に取り組む

既存事業	事業拡大・収益力の強化
新規事業	既存事業以外の収益基盤の確立
M&Aおよび 資本・業務提携	企業成長の加速

2035年3月期
経営数値目標
売上高
500億円



中期経営計画の定量目標



2035年度 売上高500億円を目指し、更なる企業価値の向上を図る

(百万円)	2025年3月期 実績	成長率	2028年3月期 目標
売上高	15,820	24.2% ▶	19,650
営業利益	1,585	24.0% ▶	1,965
営業利益率	10.0%	—	10.0%
ROE	10.5%	—	12.0%以上
PBR	1.3倍	—	1.5倍以上
配当性向	41.8%	—	40%以上

※本中期経営計画における業績目標には、将来的なM&Aによる売上高および利益の寄与は織り込んでおりません。



		2025年3月期第3四半期	2026年3月期第3四半期
売上高	百万円	11,710	12,260
	(前期比)	%	+7.5
営業利益	百万円	1,200	1,100
	(前期比)	%	+16.6
経常利益	百万円	1,219	1,142
	(前期比)	%	+15.8
四半期純利益	百万円	843	859
	(前期比)	%	+17.5
1株当たり中間純利益	円 銭	54.24	55.32

		2025年3月期	2026年3月期第3四半期
総資産	百万円	14,645	14,541
純資産	百万円	11,684	11,938
自己資本比率	%	79.8	82.1
1株当たり純資産	円 銭	751.64	772.36

当社は、2024年10月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、1株当たり四半期純利益と1株当たり純資産を算定しております。

2026年3月期 第3四半期 貸借対照表



(単位:百万円)	前事業年度 (2025年3月31日)	当第3四半期会計期間 (2025年12月31日)
資産の部		
流動資産	10,435	9,463
現金及び預金	6,697	5,673
その他	3,737	3,789
固定資産	4,210	5,078
有形固定資産	55	120
無形固定資産	22	18
投資その他の資産	4,132	4,939
資産合計	14,645	14,541
負債の部		
流動負債	2,872	2,477
短期借入金	210	210
その他	2,662	2,267
固定負債	88	124
負債合計	2,961	2,602
純資産の部		
株主資本	11,562	11,781
評価・換算差額等	121	156
純資産合計	11,684	11,938
負債純資産合計	14,645	14,541



ASAHI INTELLIGENCE SERVICE

AIS

ICT社会の発展を価値ある「サービス」と「人」で支える

旭情報サービス株式会社

■ 経営指針 ■

人材こそ源泉

人材こそAISサービスの源泉との考えのもと、プロフェッショナルで活力ある人材を育てます。

たゆまぬ改善

たゆまぬ改善をサービスの進化につなげ、真に選ばれるベストパートナーを目指します。

挑戦する企業集団

活力ある企業集団として、時代にマッチした新しいサービスに果敢に挑戦します。

グローバルサポート

ICT社会の動向を国際的な視点で捉え、お客様企業のグローバル化をサポートします。

健全なる成長

コンプライアンスをはじめ、透明性・健全性を追求し、ステークホルダーから信頼される企業であり続けます。

VI アンケートのお願い



本日は、「旭情報サービス会社説明会」にご出席いただき、まことにありがとうございました。

今後のIR活動の参考にさせていただきますので、よろしければアンケートにご回答ください。

QRコードからもアンケートへのご回答が可能です。



旭情報サービス株式会社
公式マスコットキャラクター

「ふくーたん博士」

免責事項

- 本資料は、株主・投資家の皆様に当社の情報を提供し、ご理解いただくことを目的としており、当社株式の購入や売却等を勧誘するものではありません。
投資に関するご決定は、ご自身の責任と判断で行われるようお願いいたします。
- 将来の見通しや予測に関する記述は、資料作成時点で入手可能な情報に基づくものであり、リスクや不確実性を含んでおります。
実際の業績やパフォーマンスは経済情勢、市場動向、法令・規制の改正等、様々な不確定要素に影響を受けることがございます。
これらの要因により、見通しと大きく異なる結果となる可能性があることをあらかじめご了承ください。
- 掲載している情報については細心の注意を払っておりますが、内容について如何なる保証を行うものではありません。